

東京都市計画第一種市街地再開発事業の変更 (港区決定)

都市計画白金一丁目東地区第一種市街地再開発事業を次のように変更する。

幅員の[ ]内は全幅員を示す。

名称		白金一丁目東地区第一種市街地再開発事業						
施行区域面積		約 2.5 ha						
公共施設の配置及び規模	道 路	種 別	名 称	幅 員	延 長	面 積		
		幹線街路	放射1号線	20m[40]m	約110m	—	都市計画道路、整備済 (都道415号線)	
		区画街路	地区幹線道路1号	12m[12]m	約170m	—	拡幅(既存区道840号線の3~4m拡幅)	
			地区幹線道路2号	12m[12]m	約170m	—	拡幅(既存区道293号線の5~6m拡幅)	
			地区幹線道路3号	12m[12]m	約140m	—	拡幅(既存区道298号線の9m拡幅)	
			区画道路1号	8m[ 8]m	約70m	—	拡幅(既存区道300号線の3~4m拡幅)	
	区画道路2号		3m[ 6]m	約40m	—	拡幅(既存区道299号線の2m拡幅)		
公 園	児童遊園	—	—	約1,070㎡	(既存児童遊園の移設・拡張整備)			
建築物の整備	街 区	建 築 物		敷地面積に対する		主要用途	建築物の高さの限度	備 考
		建築面積	延べ面積 (容積対象面積)	建築面積の割合	延べ面積の割合			
	I-①	約6,700㎡	約126,800㎡ (約105,100㎡)	約5/10	約81/10	住宅、事務所、 店舗、駐車場	高層部—1 130m 高層部—2 150m 中層部 50m その他 15m	
I-②	約1,900㎡	約7,000㎡ (約6,300㎡)	約7/10	約22/10	工場、事務所、 住宅	40m		
建築敷地の整備	街 区	建築敷地面積	整 備 計 画					
	I-①	約13,000㎡	・敷地内に駅前プラザを設ける。					
	I-②	約2,900㎡	・敷地内に広場、歩行者通路を確保する。 ・壁面の位置の後退により、歩行者空間を確保する。					

住宅建設の目標	戸数	面積	備考
	約 625 戸	約 59,200 m <sup>2</sup>	
参 考	地区計画区域内にあり。		

「施行区域、公共施設の配置、街区の配置、建築物の高さの限度及び壁面の位置の限度は計画図表示のとおり」

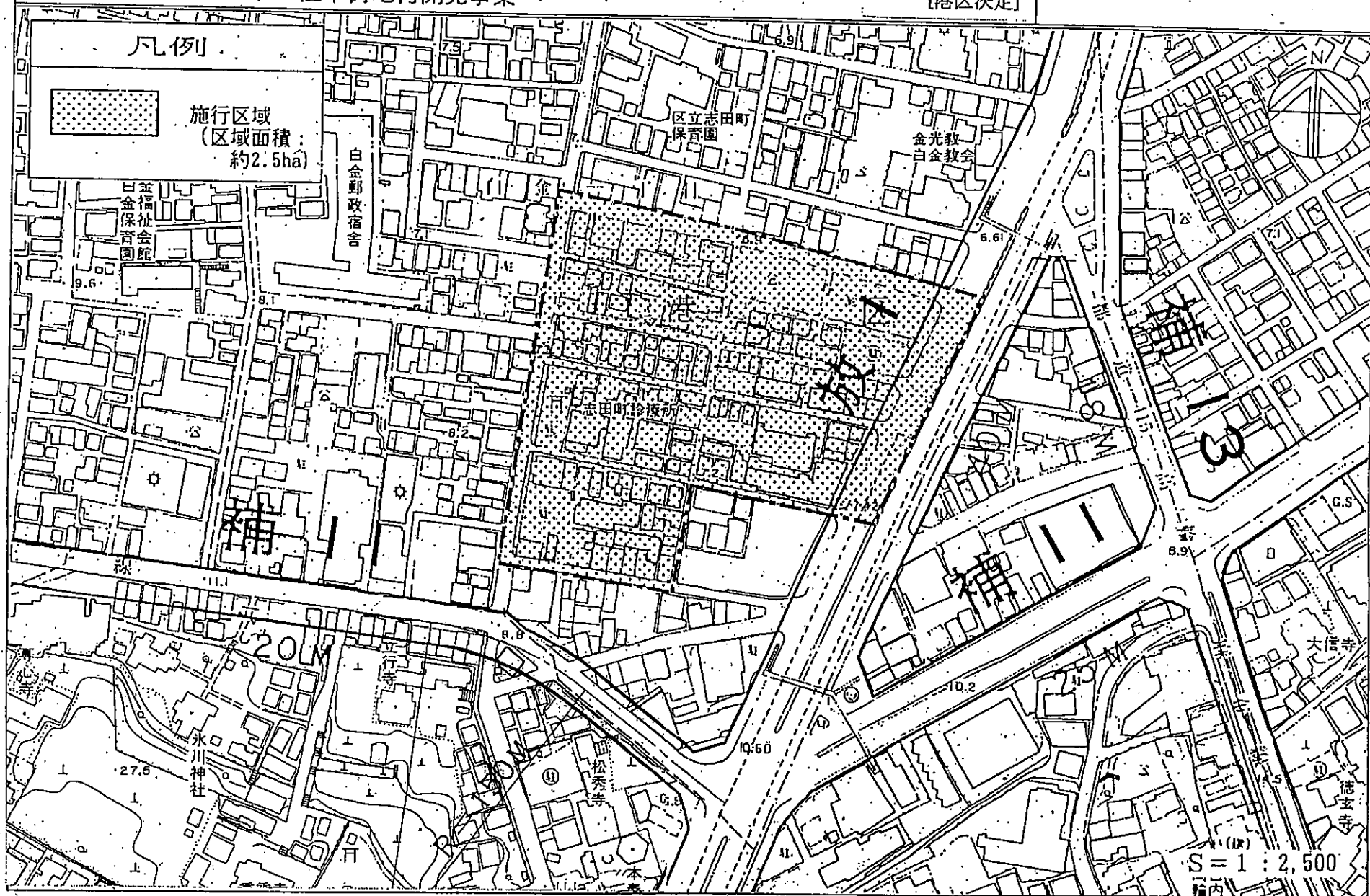
〔理由〕市街地再開発事業の進捗にともない、低層密集市街地を整備し、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能を図るため、第一種市街地再開発事業を変更する。

東京都市計画 第一種市街地再開発事業

白金一丁目東地区第一種市街地再開発事業

計画図(1) 施行区域図

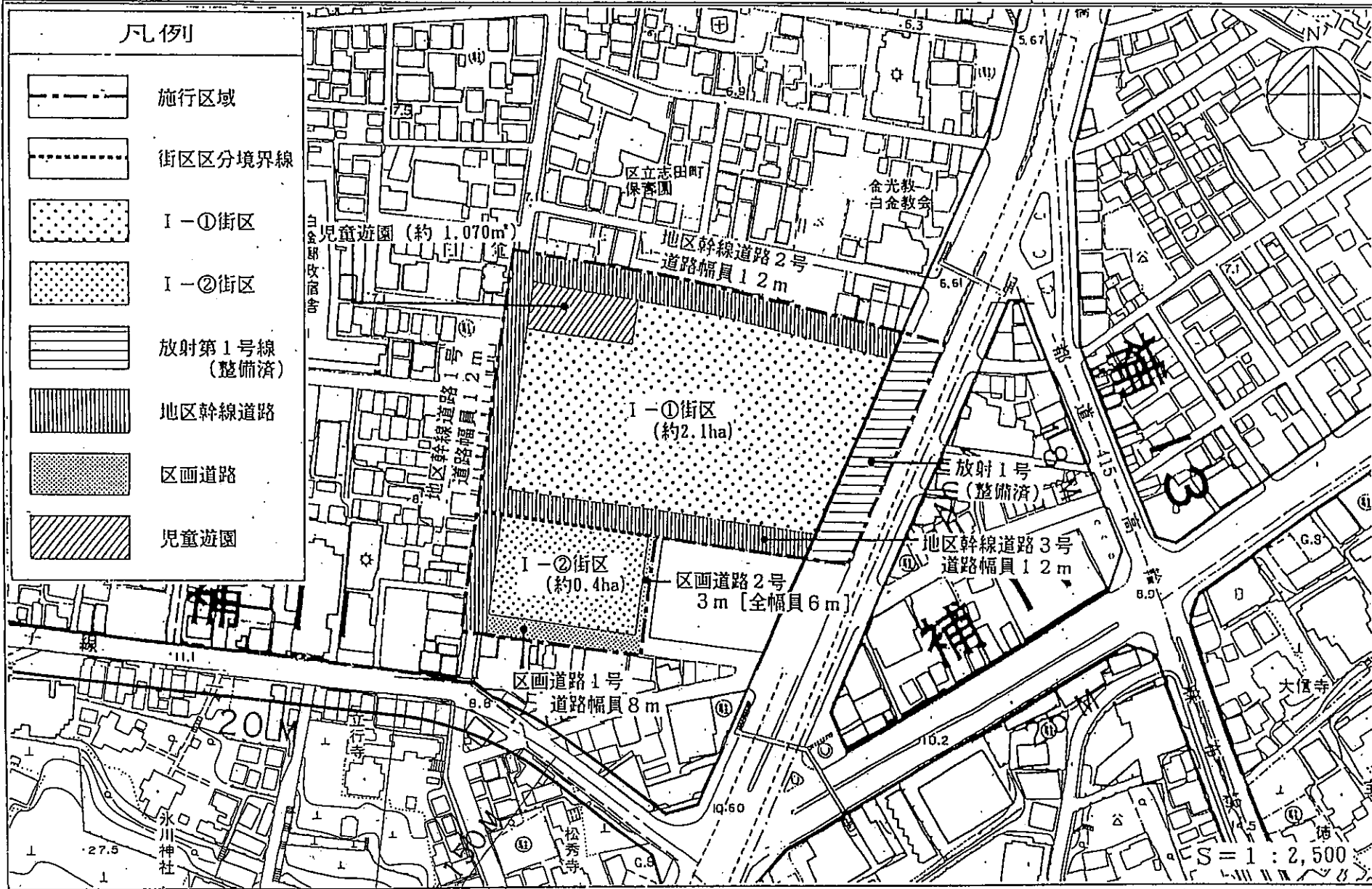
[港区決定]



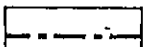
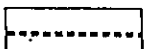
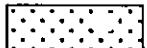

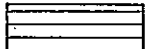



東京都市計画 第一種市街地再開発事業  
 白金一丁目東地区第一種市街地再開発事業

計画図(2) 公共施設の位置  
 ・街区の配置図

[港区決定]



凡例

-  施行区域
-  街区区分境界線
-  I-1-①街区
-  I-1-②街区
-  放射第1号線 (整備済)
-  地区幹線道路
-  区画道路
-  児童遊園

S=1:2,500

東京都市計画 第一種市街地再開発事業  
 白金一丁目東地区第一種市街地再開発事業

建築物の高さの限度  
 壁面の位置の限度図 [港区決定]

[港区決定]

